

川崎病

(Kawasaki Disease)

川崎病は子ども（特に4歳以下）がかか
る病気で、全身の血管 (blood vessels) の炎
症 (inflammation) によって起こる病気です。

急に高熱が続き、体や手足に赤い発疹が
出て、眼や口が赤くなります。これらの症
状は2週間ほどで改善しますが、治療され
ないと、20～25%の子供の冠動脈（心臓
の筋肉に血液を送っている血管）に障害を
残し、心筋梗塞（こうそく）などの原因に
なります。日本の子供の150人のうち1人
が川崎病にかかると言われています。アメ
リカでは全人種民族に川崎病の子供が報
告されていますが、やはりアジア系アメ
リカ人の子供が多くかかります。

サンディエゴ レディ子供病院 (San
Diego Rady Children's Hospital) では、カリ
フォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) 医
学部病院小児科、川崎病研究センターの
バーンス医師 (Dr. Jane Burns)、トレモウ
レット医師 (Dr. Tremoulet) が毎年50～70
人の新しい川崎病の患者さんを治療して
います。

❶ 川崎病の原因は何ですか。

Ⓐ 現在、川崎病の原因はまだ分かってい
ません。日本人に多いことから遺伝的な影
響も考えられています。何らかの病原体
（ウイルスや細菌など）が引き金となり、
遺伝的背景のある子どもに川崎病が発症す
るのではないかと多くの研究者は考えてい
ます。しかし、川崎病が伝染病である証拠
はまだありません。

❷ 川崎病の症状は何ですか。

Ⓐ 川崎病の症状の急性期と回復期につ
いてご説明します。

▽急性期

最初に高熱 (101°F～103°F = 38°C～
40°C) がでてひどく不機嫌 (irritability)
になります。体に発疹 (赤い斑点 = rash)
が出現し、手のひらと足の裏はしばしば
真っ赤になり、手と足の先が硬く腫れます
(swollen hands and feet = てかてかパンパ
ンになります)。

結膜の充血 (目の白い部分が赤くなるこ
と = conjunctival injection) は最初の1週間
にみられて、多くの場合には結膜炎と違っ
て目やにがありません。子どもの舌は赤く
なり、表面に小さいぼつぼつが盛り上がっ
て、苺 (いちご) のようになります (苺舌
と呼びます = strawberry tongue)。唇やの
どが真っ赤になります。

また、首のリンパ節腫脹 (首の腫れ =
swollen lymphnodes) がみられます (年長児
では首のリンパ節が先に腫れ、発熱とリン
パ節腫脹が発疹より先にみられることも
あります)。股や膝の関節 (時には手の指
の関節) が硬くなって痛むことがあります
(関節炎 = arthritis)。子どもは歩くのを嫌
がります。

▽回復期

熱が下がると、発疹、目の充血、リンパ

節の腫脹はたいいてい消
失します。発熱などの
症状がでてから2～3
週間目ぐらいから、手
と足の指先から薄く皮
がむけてきます (膜様
落屑 = desquamation,
peeling)。

❸ 川崎病はどのよう
に診断しますか。

Ⓐ 症状、診察および
検査結果から診断しま
す。似たような症状が
みられる他の病気を否
定して川崎病と診断します。

❹ 川崎病の合併症は何ですか。

Ⓐ 心臓と血管の障害の合併症が重大で、
最も重い合併症は冠動脈瘤 (coronary artery
aneurysm) です。冠動脈に炎症が強く起こ
ると、冠動脈拡大 (冠動脈が大きくなって
広がること = coronary artery dilatation) や
冠動脈瘤 (一部が大きくなって風船のよう
に広がり、こぶができること = aneurysm) が
できます。瘤 (こぶ) の中では血液が正常
に流れないため、血栓 (血の塊) ができて
しまい、血栓によって冠動脈が詰まって
心筋梗塞 (myocardial infarction) が起こり、
心不全 (heart failure) になります。また、
まれに冠動脈瘤が大きくなりすぎて破裂
(rupture) する危険があります。

冠動脈が拡大しても、炎症が良くなって
くると多くは元の大きさに戻って冠動脈拡
大は消失します。しかし、冠動脈瘤が回復
期に (熱が出始めてから1か月経っても)
残った場合は重症で、内科的治療 (お薬の
内服) と外科的治療が必要になります。特に、
年齢の小さい乳児が川崎病にかかって冠動
脈瘤ができた時には生命の危険があります。

その他、腋窩動脈 (わきの下)、腸骨動
脈 (おなかの中) などにも動脈瘤 (こぶ)
ができることがあります。

発熱がある時 (急性期) に、心筋炎 (心
臓の筋肉の炎症 = myocarditis)、心筋障害
(cardiomyopathy) やうっ血性心不全 (心臓
の機能が悪くなる状態 = congestive heart
failure) が起こることがあります。

❺ 川崎病になったらどのような治療を行
いますか。

Ⓐ 治療の急性期と回復期についてご説明
します。

▽急性期

献血でヒトの血液から集めて作られた
ヒト免疫グロブリン (ガンマグロブリン =
Gammaglobulin) を点滴静注します。この
治療は発熱などの症状が出てから10日以
内に開始すると、炎症を押さえて冠動脈瘤
ができないように予防するために最も効果
のある治療です。同時に、急性期の熱が下
がるまで大量のアスピリン (aspirin) を内服
します。



Kawasaki disease research center 2009

▽回復期

もし、冠動脈瘤ができた場合には、さら
に内科的治療、心臓カテーテルによる治療
や外科手術 (バイパス手術) による治療が
必要になることがあります。

❻ 川崎病にならないように予防できます
か。

Ⓐ 残念ながら、今はまだ川崎病の原因が
分かっていないので予防することはできま
せん。しかし、私共のカリフォルニア大学
サンディエゴ校医学部小児科、レディ子供
病院の川崎病研究センターはアメリカ全
土、日本や世界の研究者たちと協力して、
この不思議な病気を理解し原因を明らかに
するために必死に研究しています。

❼ 成人となった川崎病患者さんの健康管
理について教えてください。

Ⓐ 治ったと言われた川崎病の患者さん
の中にも、詳しく調べてみると、心臓に問
題のある患者さんがいることが最近分かっ
てきました。1967年に川崎富作先生が最初
の川崎病患者さんを論文に発表されてから
40年以上経ちました。その頃の子供は今
40～50歳になっています。以前に川崎病
と診断されて、その後何も診察も検査も受
けていない患者さんたちがたくさんいます。

カリフォルニア大学サンディエゴ校医学
部小児科、川崎病研究センターでは、小児
期に川崎病にかかり、現在16歳以上に成
長された患者さんについて、積極的に画像
診断、血液検査、血管内皮細胞機能検査
などを行っています。

日本語文責：清水智佐登

日本語訳協力：順天堂大学浦安病院小児科
松原知代先生

x x x x x

※興味のある方は、是非次のメールアドレスに
ご連絡ください。adultkd@gmail.com

※私共、カリフォルニア大学サンディエゴ校
医学部小児科、川崎病研究センターについても
っと詳しく知りたい方は [http://www.pediatrics.
ucsd.edu/Kawasaki](http://www.pediatrics.ucsd.edu/Kawasaki) をご覧ください。

川崎病研究センター

(Kawasaki Disease Research Center)

Email: adultkd@gmail.com<http://www.pediatrics.ucsd.edu/Kawasaki>

カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)
医学部小児科 (School of Medicine, Dep. Pe-
diatrics) レディ子供病院 (Rady Children's
Hospital) 川崎病外来: Dr. Jane C Burns,
Dr. Adri Tremoulet